

# 保 育 あ き た 瓦 版

第60号 令和3年12月 秋田県保育協議会 広報委員会



## 令和4年を迎えるにあたって

秋田県保育協議会 副会長 松橋 千幸

今年も残すところ1ヵ月をきってしまいました。あっという間に過ぎ去る日々の中、子どもたちはいろいろなことを経験し、どんどん成長していきます。

私事です。先日還暦という節目の年齢になり、気持ちは若い頃と何の変わりがないのに近く文字が見えにくくなったり、朝早々と目覚めるようになってきたりと老いは確実に迫ってきています。

この職に就いた頃は子どもたちが「今日もおもしろがったな～」と思って貰えるのが一番と思って過ごしてきました。もちろん今も子どもたちにとって「おもしろがったな～」が一番なのですが、保育者にとってはそれだけではいけませんよね。その子のどの部分をどう育てたいのか、視点をどこにもっていくのか・・・お恥ずかしい話ですが、「してん」と言われて「〇〇支店」しか思い浮かばなかった私です。

サポート事業を受けた際、担当していた1歳児のおやつ時間、30人の子どもたちが手を洗って席に着くまで手遊びをしたり絵本を見たりして過ごしていました。それが普通の姿だったのですが、その姿が「楽しくなさそう」との講評を受けたのです。楽しくなさそう？子どもたちは喜んで一緒に手遊びをしたり絵本を見たりしているのに？私の頭の中は？だらけになりました。保育者間で話し合ったり他園の公開保育に参加したりして学びを得ようとしていました。結果、食べるのが楽しみ子どもたちに、目の前のおやつが食べられない状況を作っていた自分に気がきました。「待たせる」姿が「楽しくなさそう」だったこと。子どもの目線にたっていなかったこと。いろいろな反省がありました。

3人の子どもを育て上げ、6人の孫のばばになった今、若い頃とはまた違った目線で子どもたちに接している自分がいます。

保育の世界は奥が深く、探れば探る程どれが正解か分からなくなり、迷宮入りしてしまいそうになります。が、定年退職を目前にして思うことは、先生たちが笑っていると子どもたちからも笑い声が聞かれます。子どもたちが笑って帰れば家族も嬉しくなります。やっぱり「今日もおもしろがったな～」と思って貰えることが一番大切なのではないのでしょうか。今、自分の保育に迷いを感じている先生がいるとしたら、もしかして子どもたちに「〇〇出来るように自分が何とかしてあげなくては」と使命感に駆られているのではないのでしょうか。今一度子どもの目線にたって、子どもの気持ちになってみて下さい！子どもたちは日々いろいろなことを経験し、どんどん成長していきます。使命感は柵の奥にしまっ、子どもたちと一緒に笑い合ってみて下さい！

令和4年を迎えるにあたって、職場のチーム力を大切に、先生達は笑顔いっぱい子どもたちと向き合ってください！私も4月から再任用としてばばの目線でもう少し働かせて頂きます。

令和4年もどうか宜しくお願い致します！



## 組織の一本化に向けた取り組みについて

秋田県民間保育協議会副会長 阿部 清美

現在、秋田県保育協議会（以下、県保協）と秋田県民間保育協議会（以下、民保協）、秋田県公立保育協議会（以下、公保協）を一本化し、新たな組織を作るための準備が進められています。その概要と今後の見通しなどをお伝えします。

今年、4月に行われた総会にて令和3・4年度の新会長を選出する際に、組織を一本化していく方向を見通して、民保協の会長が県保協の会長を兼務することになりました。県内の保育施設が加盟する組織として、分かり易く一つに出来ないか、役員や委員選出の負担を軽減出来ないか、各組織の研修、研究、広報活動の重複する部分をまとめながらスリム化することは出来ないか等、以前から見え隠れしていた要望がこの機会に明らかになりました。このことを踏まえ、会長から、「すぐに取り掛かれることはスピード感を持って、慎重に進めるべきことは時間を掛けてじっくりと、計画的に進めましょう。」と声掛けがありました。それぞれの組織の現状を把握して整理し、一本化しようとした時に出てくる問題点を明らかにするため、まずは会則を見比べ、整理して統合することが必要となり、この作業を民保協の総務部が行っています。これにより見えて来る一本化後の形について、各組織で情報を共有して何度も確認しながら進め、新しい会則や規程の案が出来つつあるところです。案は各地区の協議員の手元にも渡っていますので、確認して頂ければ幸いです。

新組織の概要を一部のみですがお知らせします。先述の3組織は、統合した秋田県保育協議会一つのみになりますが、秋田県保育士会については、個人会員の会費で運営されている等のため今回は対象にしませんでした。民間と公立は、どちらかに限定した調査や情報提供等があった場合や、それぞれで協議したい時のために、民間施設会・公立施設会（仮称）として形式上残し、必要時のみ区別します。役員のうち、副会長には当初は現民保協副会長と公立から1名、保育士会から1名が就きます。現在の委員会は、名称は部会になり、現県保協の委員会と現民保協の部会の事業内容を合わせた上で必要な事業を整理していきます。会議の持ち方も、事業の運営について協議する常任委員会と各地区会長からなる協議員会を設け、必要なことを適時話し合い、会員園にも繋げられるように考えています。

一本化した新組織は令和5年度からスタート出来るよう計画しており、来年度の各組織の総会では、新組織の会則や規程、組織図を提示し、活動は一本化後に近い形で行えるよう、今年度中に令和4年度の計画を合同で立案する予定です。急発進した感のある今回の組織改編ですが、実現に向けて、皆で向き合い、多方面からの意見を集約してスタート出来ればと思います。今回出来る新組織が完成形ではなく、皆が目を向け、組織活動の活性化を継続していける形が一番求められるのではないのでしょうか。

## 秋田県民間保育協議会

### 園長セミナー I に参加して



ときわベビーハウス  
園長 伊藤 隆将

令和3年10月4日、秋田県民間保育協議会の園長セミナー I (WEB形式) に参加いたしました。全国私立保育連盟の丸山常務理事より情勢報告の御講演を頂きました。

新子育て安心プランにおいて、各クラスで短時間保育士等配置による常勤保育士必須の規制撤廃案といったような驚きの内容もありましたが、特に印象深かったのは社会福祉連携推進法人についてのお話でした。児童数の減少は見過ごすことのできない問題となっており、法人の統廃合の現実味が高まる地域も散見する県内において、複数法人の連携・共働という形も未来像として視野に入れるべき時期に来ている事を実感しました。

また、「保育の現場・職業の魅力向上検討会」の動きの説明では、保育をより魅力的に輝かせていく視点も保育従事者として大切にすべきことを再認識させられました。

総じて、保育を取り巻く現状や課題を知り今後の動きや将来像を見据えることのできる貴重な時間となり、今後の保育の糧となる沢山の講話を頂戴することができました。

貴重な機会を与えていただきありがとうございました。

## 主任保育者等研修に参加して (web 研修)



能代山本地区) 能代市第一保育所  
主任保育士 川村美穂子

コロナ禍でのWEB研修にも慣れ初め、遠方まで行かなくとも講義を受講できる利点を感じています。今回は東京大学大学院教授・遠藤利彦氏の『子育て「ち」支援につながる子育て「て」支援を』を受講させていただきました。

育ちの始まりは胎児期ということで、現在、胎内環境がどのように生涯発達に影響を及ぼすかという研究がされているそうです。そして、妊娠期から親への一貫した切れ目のない持続的・包括的サポートが必要で、それが今の子育て支援の基本になっているということを学びました。

親子関係の基本はアタッチメントです。家庭が安全な避難所として、子どもの崩れた感情に寄り添い、元気になったら背中を押して、また探索や遊びに向かって行けるよう見守り応援することが大人の役割です。我々保育士も、保育所が信頼できる「避難所」と「基地」であるよう日々取り組んでいきたいと思います。

子どもだけでなく、親もまた心理的に「抱っこ」されたいという先生の言葉が印象に残りました。保育所が保護者にとっても安心安全な場所であり、保護者の心をも「抱っこ」できる器の大きい保育士を目指して、今後も研鑽を続けていきたいと思っています。



## キャリアアップ研修に参加して

「一人一人によりそう保育は、みんなを大切にする保育」  
～特別な配慮を必要とする子どもの理解とその対応～



社会福祉法人こどものくに  
こどものくに保育園  
保育士 木本 阿紀

今回、新目基氏の研修を通じて、【目に見える障がい】と【目に見えない障がい】の二通りあることを知りました。それぞれの違い、支援方法も異なるため、一人一人の発達の特徴を捉えた子ども理解が必要なこと。専門機関との連携や、ユニバーサルデザインを活用し、視覚からの情報を取り入れることの重要性を学びました。

具体的な支援として、次のようなことが挙げられます。

- ・言葉プラス絵（ユニバーサルデザイン）があることで視覚からの情報もプラスされて伝わりやすい。なるべく短い言葉で説明する。
- ・視覚刺激を少なくして、落ち着いて活動をしたり、話を聞けたりする環境づくりとしてパーテーションを置く、視界に目移りするものを置かないこと。
- ・場の構造化…マークをみて持ち物や、片付ける所を分かりやすくする。

毎日の保育の中で、「いつ」「どこで」「何を」「どのように」をわかりやすく示すことで、子ども達が迷わず自発的に活動に取り組むことができます。そして、子どもたちが「安心」して次へのステップへと向かう自信が育まれるのではないのでしょうか。

研修後に、環境を再度見直し、早速ユニバーサルデザインを取り入れ実践してみました。生活やあそびの中で「見て」「考え」「判断」し、行動しようとする場面が見られるようになり、変化を感じています。これからも、丁寧な関わりを重ねながら、“子ども同士”が育ちあえる支援の充実に取り組んでいきたいと思えます。

また、配慮の必要な子どもの保護者対応については、保護者の気持ちに寄り添って話すこと、そして子どもの様子を正確に伝えること、保育者と保護者が同じ方向性やゴールを目指して進めていく大切さを再認識しました。

今回教わった内容を園全体で共通理解し、一人一人に寄り添い、子どもたちが見通しをもって安心して園生活を送れるような保育を目指していきたいと思えます。

## 中堅保育士研修を受講して



男鹿市立船川保育園  
山方 彩子

コロナ禍ということで、オンラインでの研修に初めは少し戸惑いもありましたが、回を重ねるごとに馴染んでいき、このような研修の形もあるのだと感銘を受けました。

研修では、「中堅教諭に求められること」「秋田県が目指す保育とは」「保育者の専門性と子育て支援について」「コーチングの理解と応用」等、たくさんのことを学びました。その中でも、コーチングのコミュニケーションスキルの『聴く』…相手の考えや状況をつかむ『承認』…相手を認める『訊く』…相手の考えを引き出したり深めたりする、この3つは子ども・保護者・職員に共通して活かすことができると感じました。このコミュニケーションスキルを意識しながら、子ども達の心と体が健やかに育っていくように努めたいと思います。

また、今の乳幼児が社会に出る20年後にはAI社会になり、身体で覚えたりネットに頼って考えることが減ったりするということが予想されます。そこで、10の姿をもう一度紐解き、人間的な資質を幼いころからしっかりと育てていくことが大事になってくる。10の姿が示す意味をしっかりと捉えていきたいと思います。

中堅という立場になり求められることはたくさんありますが、自分自身が日々を楽しく過ごすことで、子ども達にも楽しさを伝えることができたらと思います。

## 新任保育者研修を受講して



社会福祉法人石脇福祉会 内越保育園  
保育士 菅原瑤希

保育士として働き始めてから半年。新任保育者研修を受講して、子どもとの関わり方について考えるきっかけになりました。

この研修では、子どもは保育者との関係のなかで愛着が得られることで「自己信頼」や「他者信頼」など心の性質の基盤が育まれるため、保育を行っていくうえで愛着関係を築いていくことが大切であることを学びました。

これまで余裕がない時や先入観をもって子どもに関わった際、子どもが本当に伝えたいことに気が付くことができず、気持ちの受容が足りない面があったと自身の保育を振り返っています。

研修受講後から、自分の思いを一生懸命言葉や態度で伝えようとしている子どもの一つのサインを見逃さないように意識し、どんな時でも「大好きだよ」「あなたが大切だよ」という気持ちを伝えようと心掛けています。

子どもの「安心の基地」となり愛着関係を築くと共に、笑顔を絶やさず、子どもたちにとって最高の遊び仲間、そして良き理解者となれるよう今後の保育に取り組んでいきたいと思っています。

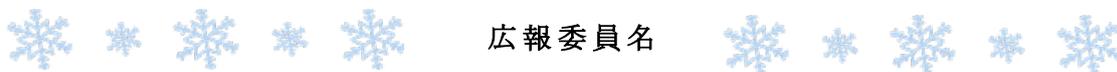


## 編集後記

2021年も残すところあとわずかとなりました。街のあちらこちらにはクリスマスのイルミネーションが輝き、子ども達にとってはわくわく感が高まる季節ですね。依然「with コロナ」が続く中、保育環境とともに研修の形も多様化してリモート主流へと変化しています。常に忙しい保育現場にとっては貴重な時間を有効に使えるというメリットがあります。同時に、共に集い、じっくりと語り合い、学び合うことで「明日への保育に向かう活力」に繋がる従来の研修の場の重みも改めて感じています。

今回は、県保育協議会等に関する様々な情報と、幅広い立場からの研修報告を掲載させて頂きました。本号発行にあたり、快く原稿をお引き受けくださった皆様、本当にありがとうございました。迎える、新たな年が「穏やかでありますように」「第6波がきませんように」切に願うばかりです。

(広報委員副委員長 小倉まゆ子)



## 広報委員名

担当副会長	松橋 千幸	(白岩小百合保育園)
広報委員会委員長	佐川 ひとみ	(ふじ保育園)
広報委員会副委員長	高橋 寿子	(川添保育所)
	小倉 まゆ子	(こどものくに保育園)
委員	中塚 鈴香	(若美南保育園)
	織田 羽衣子	(石脇西保育園)
	熊谷 幹雄	(アソカ保育園)
	西村 優子	(みたけこども園)
	畠山 睦子	(花輪にこにこ保育園)
	茶谷 洋恵	(城南保育園)
	高橋 さおり	(きみまち子ども園)
	高橋 朝子	(大川西根保育園)

